

平和と民主主義をともにつくる会・東京

足立区でただ一人の

無所属・市民派 足立区議会議員

土屋のりこ 通信



発行：平和と民主主義をともにつくる会・東京

〒120-0024 東京都足立区千住関屋町 8-8 2階

Tel 03-5284-9540 Fax 03-5284-9545 tomonitsukurukai.tokyo@gmail.com

介護保険料値上げ圧縮を勝ち取る！

4/1 パートナーシップ制度スタート♪

皆さんと共に区へ求めたことが、実現できました

私たちの「値上げ反対」の声、届く！

成果に依拠し、「介護保険」新署名開始へ！

私たちの要望通り、基金繰入額を増額させ、保険料値上げを低く抑えさせることができました。署名など皆様から沢山の声を頂いた成果です。

次期計画では保険料の値下げを勝ち取るべく、新署名を開始します。ご協力をお願いします*



こんにちは。長村さと子と申します。私はこの度足立区で始まった「足立区パートナーシップ・ファミリーシップ制度」にて、同性のパートナーと「パートナーシップ宣誓書」を第一号として提出しました。この制度には、結婚のような法的な効力はありません。けれども、私たちにとって今よりも安心して暮らせる後ろ盾となります。

例えば、事故などで病院に運ばれた時に、家族の同意などが必要なことがありますが、結婚ができない私たちにとっては、一緒に暮らしていても法的には「他人」という扱いになってしまいます。でもこの制度があることで、区が私たちを家族として認めてくれていることを病院に伝えることができます。他にも、家を探すときや保険、ローンなど、生活の様々なシーンで「カミングアウト」をすべきなのか選択を迫られることがあります。相手が否定的だったらどうしようと不安になります。その時にまずカードを見せることができれば、心のハードルがグッと下がります。

私は、ゆくゆくは子どもが欲しいと思っており、その時はファミリーシップ制度も利用したいと思っています。

今回制度ができたことで、一番に感じたのは、足立区がいろいろな人が住みやすい街にするために一生懸命動いてくれるということでした。本当に嬉しかったです。私にとって前よりも住みやすくなった足立区。これからもいろいろな人にとってより住みやすい街になっていくことを願っています。

パートナーシップ・ファミリーシップ 制度スタート

4/1 宣誓されたお二人のお祝いへ♪



<寄稿> 長村さと子 さん

新宿2丁目にて「足湯 cafe & bar どん浴」他、複数店舗の飲食店を経営。又LGBTで子どもが欲しい・育てている人の支援団体 一般社団法人 こどもまっぷの代表理事。6/19 開催予定の足立 LGBT 映画祭の主催者。

皆さまの声で、あだち をつくっていきます

ぜひ区政へのご意見や、お困りごとなどお聞かせください。

「市民派」だからこそ、おひとりおひとりの声をすくいあげることができます。

tomonitsukurukai.tokyo@gmail.com

「コロナ緊急！何でも
相談」受付中*



デジタル関連法案が4月14日、参議院で審議入りしました。「デジタル化」と聞くと一見便利になるかのように思いますが、違います。少しの利便性と引き換えに、機微な個人情報を国家に渡してしまう内容になっているのです。

これまで自治体は、住民の個人情報を守るために自治体ごとに個人情報保護条例などを作り、市民を守ってきました。その自治体ごとの差を取っ払い、国が一元化し、マイナンバーと紐づけて医療情報や介護、課税情報など何から何まで管理できるように作り変えることが狙われています。個人情報は「匿名化」といわれますが、匿名化情報を複数重ねることで個人を特定できることは、ナチスドイツがその昔、証明した事実です。

ともにつくる会・東京では、デジタル法案反対署名に取り組み、4月14日内閣府等との要請交渉にも臨んできました。自治体が制限を課している外部とのオンライン結合に関しては「(自治体に)制限をさせない」＝外部から自由にオンラインで情報にアクセスできることとなることや、「匿名加工情報の提供は、都道府県と政令市は義務(!)」など衆院審議より踏み込んだ危険な内容が明らかになりました。また、「(マイナンバーと紐づける)ワクチン接種システムは自治体の判断で使用しなくてもよい」とも。これは自治体での闘いで武器になります。

菅政権は、早期成立をもくろんでいます。そうはさせないよう、これからも街頭署名などをおこない危険性について理解浸透を図っていきたいと思います。



自治体が制限を課している外部とのオンライン結合に関しては「(自治体に)制限をさせない」＝外部から自由にオンラインで情報にアクセスできることとなることや、「匿名加工情報の提供は、都道府県と政令市は義務(!)」など衆院審議より踏み込んだ危険な内容が明らかになりました。また、「(マイナンバーと紐づける)ワクチン接種システムは自治体の判断で使用しなくてもよい」とも。これは自治体での闘いで武器になります。

菅政権は、早期成立をもくろんでいます。そうはさせないよう、これからも街頭署名などをおこない危険性について理解浸透を図っていきたいと思います。

私たちの「値上げ反対」の声が、介護保険料・値上げを低く抑えさせました！

第1回定例会

6580円を7111円にする予定が6760円に。531円の値上げ幅を180円と351円圧縮へ。

選挙期間中多くの方から、「介護保険料が高すぎる」と声が寄せられました。私たちは、「値上げ反対」の声を何としても区の政策に反映させたいと昨年当初より取り組みを強化してきました。

皆様にご協力いただいた署名、パブリックコメント、公聴会への参加、またそのような皆様の声を受け、区議会の中で土屋のりこは「これ以上の値上げは許されない」と発言を強めてきました。「平和と民主主義をともにつくる会・東京」としても、区役所の関係部署に値上げ反対を訴える要請行動を取り組んでまいりました。

こうした大きな反対の声は、区議会冒頭の区長あいさつにある通り、「『介護保険料を上げないでほしい』というご意見を重く受けとめ、介護保険料給付準備基金からの投入額を当初より10億円増額して」という区の判断を引き出し、値上げ幅が中間案で示されたものより大幅に圧縮となりました。

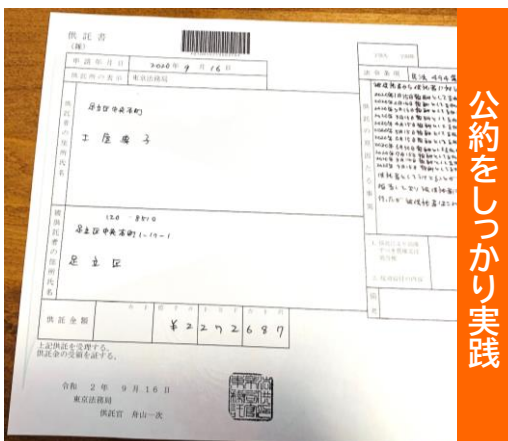
足立区議会議員(無所属・市民派)土屋のりこと共に様々な声を上げることにより、より良い足立区にしていくことが可能です。ぜひとも今後も共に声をあげて行きましょう！



4/11~18 日野市長選、大健闘!!!

私と同じく市民運動グループ ZENKO(平和と民主主義をめざす全国交歓会)を母体とする「あるが精一さん」が市議を辞し、市長選へ出馬。ともにつくる会・東京からも応援に駆け付けました。

結果は、現市長の汚職と腐敗政治からの転換を訴え、30188票を獲得。1685票の差まで追いつきました。市民と共に歩む市政へ。市政転換の闘いは続きます。



公約をしつかり実践

【公約】高すぎる1000万円議員報酬は半分に！政務活動費はゼロへ

*議員報酬(月61万5000円/年1090万円)は、

半分受け取り、残りを法務局に供託しています

供託総額は、2000万円を超えました

*政務活動費(月額16万円)は受け取らず、

総額1152万円もの税金を節約しています